





本館は昨年二月、基隆本報  
經濟協會に於て爲したる  
要なり練して以て吐脱せ  
る年、あちちへ立ちます  
に、御意見と心得の爲め  
ごいます。所が甚だ恐れ  
います。が伯鸞の御面前で  
に中つて居ることも少し

ふいふことを  
それは伯  
教ふべし  
いふべし  
上から  
思ひます  
我對轉

▲自由港 南滿鐵道  
自由港 南滿鐵道  
自由港 南滿鐵道

南滿洲國道の貨物増加し滿洲貿易また繁  
 盛を來すべしとて祝ひ居れり  
 ▲韓太子御用掛  
 岩倉具定氏韓國皇太子御用掛を命ぜらる  
 (九日午後發)

●李宮相の電音 一昨日午後五時十分着に在東都の李宮相より韓國宮内府に宛て左の電音ありたり

兩閣御安寧なりや殿下御無事本日日本皇太子殿下より乘馬一頭御贈進あらせられたり此旨上奏と云ふ

●完興君保護選査 過日の内閣會議に於て完興君李範賢、永宜君李俊鎔の兩氏に皇

等は世界を支配すべき特權を有せる  
る。白人種は、白人種を以て世界の  
腦裏には、白人種を除きては世界  
の諸國に及ぶ歐洲より陸續侵入する白人種人及び歐洲より陸續侵入する白人種人の排斥熱の眞因は人種的偏見なり即ち排斥熱の眞因は人種的偏見なり即ち

度量衡法制定

韓廷にては度量衡法を制定し之を發布した

中日本より種々ありと雖も羅馬法王すら日  
 本の文明程度を誤解して滿韓、

ることあるも多年因習の久しき容易に之を改良する能はず今に至る迄各地區々に度量衡を使用し商取引上幾に不便を感じつゝあることは世人の知悉する如くなるが韓廷に於て之に鑑み之を統一する爲め度量衡法を制定し既に開議に廻付したれば朝廷の承認を経たる上發表する筈なりと其内容

眞實を認め居らざるなり畢竟是れ日本  
 教を知らずして之を侮蔑し日本の社  
 教を知らず從て其道德の根底を誤解し  
 なる歴史と驚くべき武力を有せる日  
 衣食住に於ても殊異なるに呆るゝ耳

は本邦の者と同様の制を取り本年三月より京城、平壤、釜山、大邱、元山其他樞要の地に實施し漸次各道各郡に普及せしむる方針なりと之れと同時に日本人の度量衡取締の必要あるを以て統監府は其取締を警視廳に委託すべし而して之れが製造に就ては本邦政府に委任し韓國農商工部に於ては之を

して日本人に對しては、實質は勿論其  
 旅客たり商人たり學生たる者は之  
 して兩國相互の利益を計るべきも此  
 の者は全く入國を拒絶すべしと云ふ  
 現に奥平等の經營するフロリダ殖民

●退官賜金支給規程裁可 陸、照元  
年十二月發布官制改正の爲め廢官又は退官  
したる判任官以上又陸、照元年七月以降に係  
る部制及行政改善の結果廢官したる判任官  
以上の文官等に對する退官賜金支給規程去  
九月認可ありたり

九月、暹羅に暴動あるや、香港に開きたる大會は決議して「這般の事件は其の共住するに堪へざる無比の好例證」と言へるが如き又米國大雜誌のリヤは右暹羅事件のあるや九月

● 元 警衛局巡檢解散 官制改正の結果元  
警衛局權任以下二百七十九名は九日正午布  
徳門前元主廳内に於て宮内大臣陸奥將選の  
訓令方法に依り無事解散式を執行せり就て  
は各一人前に本月分の俸給を給與し以後一  
ヶ月に付一人前四圓の手當を給す又李宮相  
歸朝の上は恩賞金の沙汰なるべしと云ふ

廣州驛の擊退  
春田中尉以下九日午後七時廣州南方約二里  
廣州驛附近に於て解隊脱走韓兵より成る暴  
徒約二十名を擊退し其十を殲じ獲品銃外  
十點我に損害なし

せしめ五ヶ月間の監視に付したり

**岡部長の辯明**

運送屋招待案

岡運輸部長は今回運送業規定を施行するに  
付て相互意思の疎通を圖らんが爲と稱し一  
昨日仁川各運送業者を南大門官舎に招待し  
本話會を催したるが出席者は韓人三名及仁

は十二月二十七日午前四時三十分頃定山巡査駐在所背後に於て突然銃聲起りたるを以て同所勤務中なる三巡査は直ちに之に應戦せるに匪徒は約百五十名にして各所に散在し定山御取扱所其他の家屋に放火せり

川運送業者十七名にして通運會社員は出席し居らざりしといふ而して岡部長は出席者に對し管理局が通運會社と特別の關係あるが如く傳ふるも其事實ならざるを辨明し且身元保證金については從來仁川運送組合に於ける一日運賃の總計平均五百内外なるを以此れを標準として岡組合より一千五百

午前七時頃青陽郡方面に逃走し、探偵員到着の時は已に其所を失したり死傷及被害家屋金品は左の如し

即死者送込人井内仁兵衛▲○負傷者早坂逸查郎便取投所長妻小島カウ○長男幸一雄夫家屋定山郡便取投所一、定山巡査駐在所所屬定山郡便取投所一、下山巡査駐

圓内外の保證金を積立つるを主當とすべし云々の談話ありたりといふ、吾人は以上同部長が通運會社と特殊の關係なしと辨明すとも雖とも嘗て其辨明の口より同會社が韓國支店を設置したる眞相即ち管理局と特殊の關係ありと言明したる事あるを忘却したるなきやを反問するものなり

●原州守備隊の討伐 原州守備隊は十二月廿七日午後四時五十分、越郡古田里に於て賊の巨魁盧登水の率ゆる約四百の暴徒に出會し直ちに交戦一時間にして其二十

●韓人會議所の開申  
韓米電氣鐵道會社が本年一月一日より其乘車賃を引上げたるに就ては大に世間の物議を惹起したるが韓人の實業團體たる京城商會會議所に於ては歐米及び日本の市街交通に關する例を調査し貨率値上の不當なる理由を内務大臣に開申する所ありたりと云ふ

江左岸思津附近にて賊百五十を攻撃し其二十を殲せり銃十五外雜品ありたり

白福嶺附近の討伐

嶺に白福嶺方面に派遣したる偵察隊は七日朝サンケイリに於て五百の暴徒を攻撃し

●韓國輸出商品検査所設置 曩に在韓國日本人商業會議所聯合會の決議を以て本邦各商業會議所に宛て本邦より同地へ輸入せる商品は兎角に粗惡品多くして爲に同國における日本商品の聲價は落著しこの趨勢に押し行かば將來日韓貿易に多大の障害を來すべき虞れあるため各當業者に對し注意を

●高山の賊　一月二日全羅北道珍山巡査駐在所巡査は高山郡砥石岩に暴徒、樹泊中の情報を得憲兵隊と協議し討伐の目的を以て長の一に行に加はり目下行動中なり

りたき旨通陳ありしを以て大阪商業會議所  
は直に朝鮮貿易組合へ通告する處ありたる  
が今同業組合より其矯正を策畫し本年一  
月一日より検査所並に組合荷扱所を設け同  
所において検査の上輸出する事とし矯正目  
的の貫徹を所期し右通告に背かざる旨回答  
し來れりといふ

なりし二方面より攻撃し交戦約一時間半に於て撃退せし匪徒は即死五名を出し逃走せり火鎗銃二旗、火藥若干を鹵獲す

群山警察管内の暴徒と火賊

群山警察署の調査に依れば昨年一月より十二月に至る同署管内に出没したる暴徒數は

東京歳首の金融強硬  
歳首市中金融市場は各銀行營業初の四日より弗々資金回收しつゝあり此分にては十三四日迄には歳曉決算資金の大部分は回收すべき見込まれど本年は例年に比し回收の足取甚だ鈍く殊に生糸は新春早く多少の手合せむりたれども外國貿易の大勢上つて急

●匪徒歸順  
江原道春川に於て匪徒三名  
多きに於て此中逮捕したるは僅かに十六人  
殺戮したる者十七人なり而して此等暴徒火  
賊の爲め被害を見るに死者二十八人傷者十  
人にして金員四千二十六圓財物見積價格二  
萬一千七百八十圓を掠奪せられたりと

速に賣捌かるべくも思はへず無慮二千四五  
百萬圓の資金は當分固定を免れざるものと  
見るべきを以てこゝに諸銀行共暫く警戒を  
怠らざるべく加ふるに舊曆節季も限近に横  
はり是亦遅くも来る二十日過ぎよりは弟々  
資金の需要開始すべければ目前き或は却て  
少の引續りを見しを深せず遂て金印歩合

●鈴木司税局長 度支部司税局長鈴木稔氏は今明日中一時歸國する由なり

●熊谷民長の旅行 京 城居留民團民長熊谷頼太郎氏は高等女學校設備視察及び漢

而して加入者中數々持たせて後に御領へ  
と云はれて立腹せしもの多きも是は所  
謂軍式交換機のことにして致方なき大體  
弊は軍式交換機装置の機に非ざれば改正  
若し交換手の「觀詰」中なる言に對して不  
審の處あれば六十兩又は五百兩に掛て  
取調と求むる之を確むるを可しとナ  
二交換手は一名毎に約七十名を取扱ふ  
に當るを以て午前約七十名午後一約

け祝祭の爲め往復二週間の豫定にて旅行する筈なり

●大隈新聞新社長 李人樞氏社長を辭し後任者として申某氏新社長となれり吾人は申氏の成功を祈るものなり

最繁劇の弊は何處にても電話の使用頻繁なるを以て幾分應答に敏捷を缺くもの類きなるも、總路廊中に故障なきより一二回發電機把手を過せば交換機の番線柱等々加入者の呼來りてを知るを以て應答遲しとて漫りに發電機把手を過すは不利きことの結果を來すのみにして何の益なきことなり、乃至交換手は該番番號に經つてドと續き應答せんとするも發電機の電流を打ちて應答を得ず番線の弊は電流を

しと云ふ、因に目下市中にては内田氏が山下某の地所を權に詐僞取財を企てたる一類に關係を有し已に其筋より逮捕せられたるが如く噂せられつゝあるも开は誤傳なるものゝ如し

に呼来りしものに對して應答し前加入者の  
の應答を援護しにする原因種々あるべし  
語の途切なりする場合は、  
妙の作用動作をなす機械のごときで容易  
に發見し得られざる個所の原因の伏在す  
ることあり斯は技術者の責任に歸する  
となるを以て鋭意其故障の發生を回避す  
乃鐵路交換機、電話機等にも就き、種々  
の試験を施すは勿論爾後亦加入者機械の  
修理排除を行はしめ爾後は一ヶ年毎に一回

●九日参内者 昌徳宮總計三十二人  
 昨日の官報を以て發表されたるは山田保  
 氏は宮内府庶務事務上村次郎吉氏は宮内府  
 主簿課術教師を何れも囑托され判任待遇を  
 受ることとなり

乃至二回實行する豫定に付加入者に於ても電話機上に盛炭の塊積せざる事情備ならしむること無用の物品等を載せざる等留意相成度ものなり

●臨時種痘施行 京城、外に於て天然痘流行の兆あるを以て京城居住民團役所所に於ては之れが豫防の爲め臨時種痘を施行せんとす目下準備中なるが準備整ひ次第日

當局は單式交換機九臺、市外臺、臺を以て  
 李載完、閔侍從院卿、趙承憲府總管等なり  
 電話加入者の注意  
 仁川局員談

●電車政談演説會  
 朝鮮日々新聞社東京支店の主催にて昨日當地本町座に於て彼の米轉電氣鐵道會社政談演説會を開催せり

●昨午十二月の氣候  
 當地觀測所に於て實測したる昨午十二月の氣候と三十九年十二月の氣候とを比較すると

●昨午十二月の氣候  
 當地觀測所に於て實測したる昨午十二月の氣候と三十九年十二月の氣候とを比較すると

なる通語交換を許すに未だ一定の規定等なきも概ね五六歳加入者約五百名)に止まるものゝ如く以上は居ながらに交換手自身に随意の加入者に接觸し得るの裝置なる復式交換機を要するものなれども經費上の關係

平均氣溫	華氏	二六・六	三〇・二	三三・〇	平
平均最高氣溫	同上	三三・五	三六・九	四〇・四	年
平均最低氣溫	同上	一八・九	二四・四	二五・〇	年
最高氣溫	同上	五〇・五	五五・三	六九・一	年
最低氣溫	同上	九・九	一七・七	二五・五	年
低溫持續日數	同上	五・九	九・五	一四・四	日
無霜日數	同上	二二・八	二八・八	三二・八	日

數の加入者を取扱ふものは技術者たること交換手たることを問はず一應の熟練と周到なる注意を要するは勿論なるも加入者に於ても使用上少しく注意を要みたまきのなり左に其事項二、三を記述す

曇天日數	一四
雨天日數	一三
雨雪量	二六
ミグメートル	三三
即ち客年十二月の氣温は前年及平年に比し	三六
大に低度を示し低極は既に十四年間の最低	三三
より僅に四度の高きに過ぎず而も舊多の如	三五
き最低の生じたるは只三十四年あるのみ天	六三

責任の薄き雇人又は給仕等に取扱を一任せらるゝ場合、例へば本人直接電話に掛りて話せば一分にて用を便する場合には雇人、給仕等をして取次をなさしめ無益に五六分を費す如き又は左程必要ならざることを序なりて長々話と續け及ばし如きは交換取扱上不良なる影響を及ぼす之が爲自然の交易と距離とを減らし

同日にして雨天は三十九年に比すれば二日  
 少けれども雪天は全く同一なり然れども平  
 年に比すれば何れも約二倍なり又雨雪量は  
 三十九年の二分の一、平年の約三分の一に  
 過ぎざりし要するに昨年十二月は寒冷且雨  
 雪量少かりしことは稀に見る所なり（統  
 雪量調査所報）

-30-







